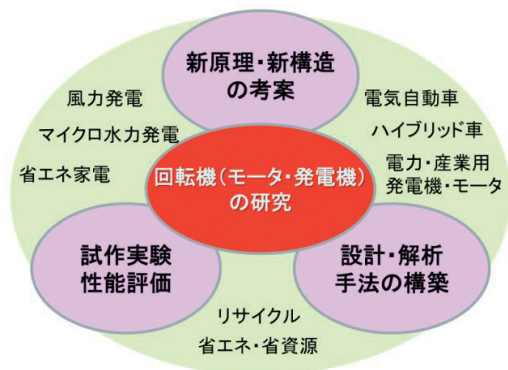


研究概要

特定用途指向の新しい回転機(モータ/発電機)の研究

回転機は、電気・機械エネルギー変換を、高密度、高効率で実現でき、社会基盤を支えるキーデバイスとして、電力、産業、交通、家電、民生などの幅広い分野で利用されている。ただ、低炭素社会の実現に欠かせない電気自動車、ハイブリッド自動車、風力発電などに用いられる回転機では、まだまだ技術課題が多く、発展途上にある。

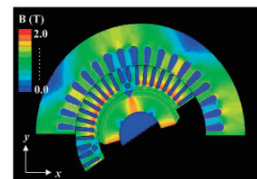
当研究室では、このような特定用途にベストフィットした新しい回転機の開発をコンピュータと実験により行っている。



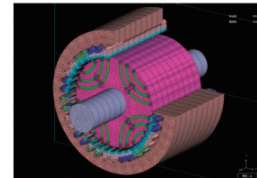
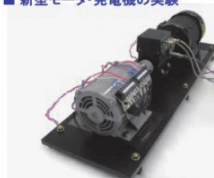
■ 新型モータ・発電機の試作品



■ 新型モータ・発電機のコンピュータ解析



■ 新型モータ・発電機の実験



今後の展開やメッセージ

回転機的设计と解析に関することであれば、お気軽にお問合せください。

研究者情報



深見 正 教授・工学博士

工学部 電気電子工学科

所属研究所：電気・光・エネルギー応用研究センター

金沢工業大学電気工学科卒。同大学大学院工学研究科博士

課程(電気電子工学)修了。三菱電機(株)入社、中央研究所に勤務。1992年本学助手、講師、助教授を経て、2004年教授。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RJCABF.html>

Keyword

回転機/モータ/発電機